

4K@30、HDCP 対応 ビデオウォールプロセッサ

# DIVIP804KC

---

クイックスタートガイド Ver.1.0.0

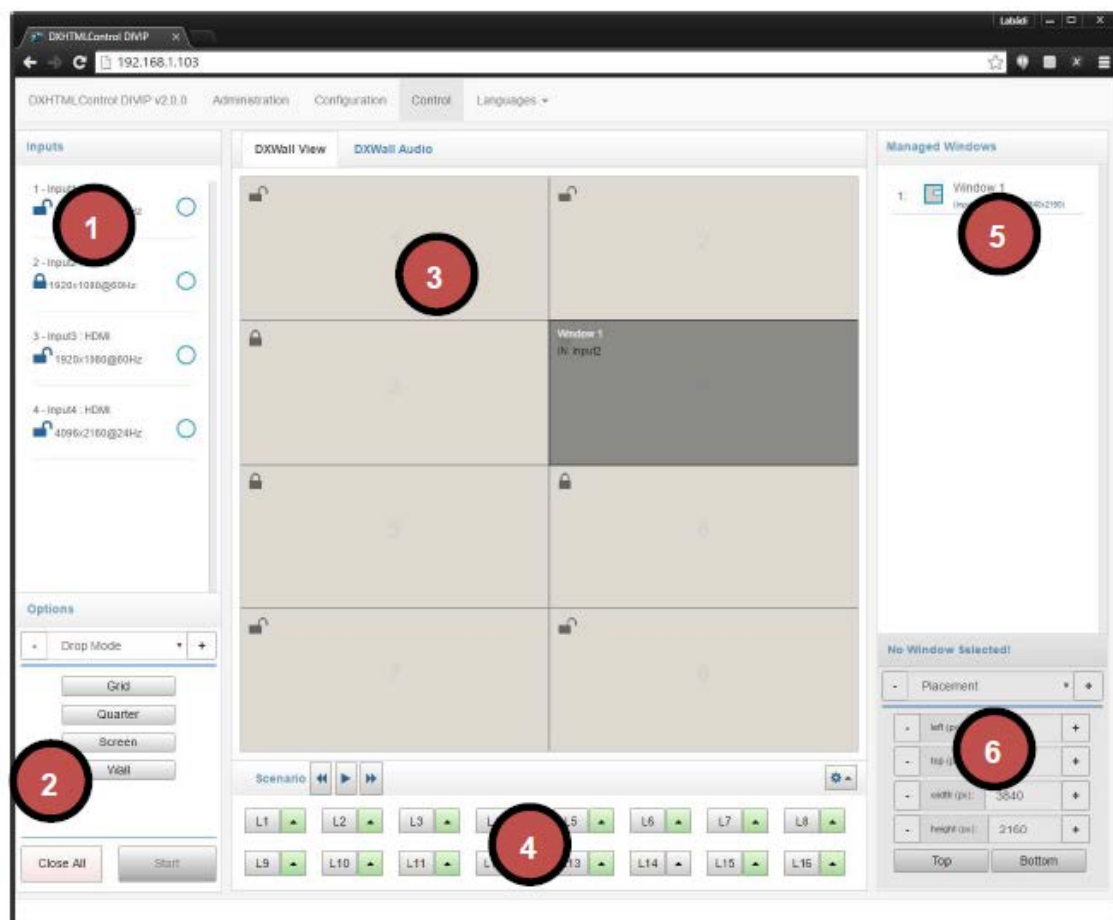
- この度は、ビデオウォールプロセッサ「DIVIP シリーズ」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- DIVIP シリーズは 1 台でビデオウォールを管理できる高い品質の製品となります。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの「クイックスタートガイド」をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

# クイックスタートガイド

## 1. ログイン

<p><b>ステップ1.</b> 本体背面のLANポートとネットワークスイッチ、またはPCとLANケーブルで接続します。その後、フロントパネルの電源を投入してください。</p>	
<p><b>ステップ2.</b> ネットワーク設定を行います。デフォルト IP アドレスは DHCP 自動取得になっています。IP アドレスはフロントパネルとキー操作によって以下の操作で変更可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Advanced ▶ Remote Control ▶ DHCP Enable へ進み、▶ ボタンを押します。</li> <li>2. ▲▼ボタンで Disable を選び Set ボタンを押します。</li> <li>3. ◀ ボタンを押して戻り、▲▼ボタンを押して IP Address を選び ▶ ボタンを押します。</li> <li>4. ▲▼ボタンで IP アドレスを設定し、◀ ボタンで戻ります。</li> <li>5. ▲▼ボタンを押して Network Mask を選び ▶ ボタンを押します。</li> <li>6. ▲▼ボタンで IP アドレスのサブネットマスクを設定し、◀ ボタンで戻ります。 ▲▼ボタンを押して Apply now を選択し、Set ボタンを押します。</li> </ol>	
<p><b>ステップ3.</b> PCのウェブブラウザを起動し、アドレスバーに上記で設定したIPアドレスを入力します。ログイン画面が表示されます。 ユーザー名とパスワードを入力してください。 ユーザー名 : Administrator パスワード : dexon</p> <p>*パスワードはWebブラウザから変更可能です。 *IPアドレス設定後接続がうまくできない場合は、DIVIP本体とPCをLANケーブルで接続した状態でDIVIPを再起動してください。</p>	

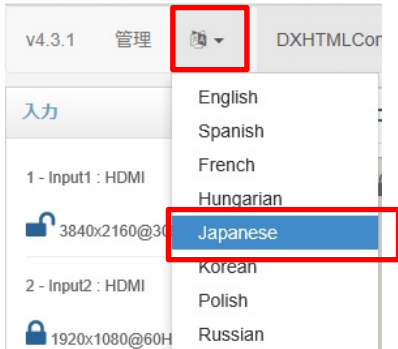
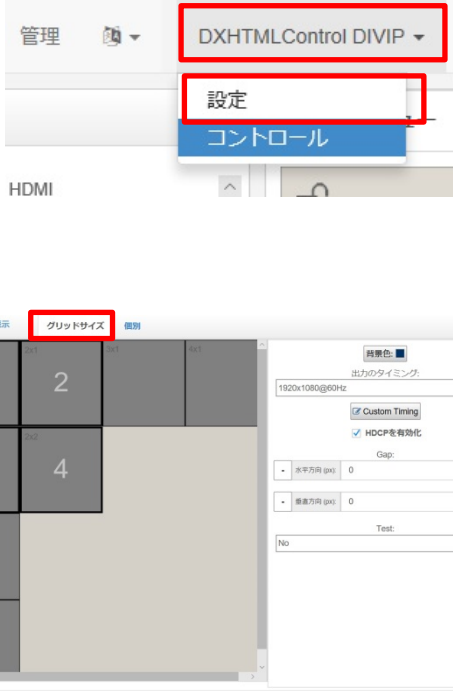

## 2. ビデオウィンドウの説明



① 入力エリア	入力チャンネルのステータスを表示します。ここで認識された入力信号のタイミング（入力解像度およびリフレッシュレート）と HDCP のステータスを確認することができます。
② オプション	ドロップモードの変更、グリッドラインの設定、切換効果、DXWall ビューのアスペクト比の設定を行います。また「すべてを閉じる」ボタンを利用することで全てのウィンドウを閉じたり、「スタート」ボタンを利用してDXWall ビュー上で行った変更を表示器に反映させたりすることが可能です（オプション内の「自動で反映させる」にチェックが入っている場合は、DXWall ビュー上で行った変更は直ちに反映されます）。
③ DXWall ビュー	ここでは表示したビデオウィンドウを表示器から表示器まで目地をまたいでドラッグすることが可能です。その際には DXWall ビュー上でビデオウィンドウを表す四角形を選択し配置したい場所にドラッグしてください。ビデオウィンドウは表示器の目地をまたいで自由に動かすことができます。

④ レイアウト シナリオ再生・手動切換	ビデオウィンドウのレイアウトを各レイアウトボタンに保存し、ボタン操作一つで簡単に呼び出すことが可能です。 保存したレイアウトは、表示時間を設定して自動で切換えること（シナリオ再生）も可能で、その再生や手動での切換を各ボタンで操作できます。
⑤ ウィンドウ管理	開いているウィンドウの場所と入力のパラメータを表示します。 ここでZ順序（最前面・最背面等）の設定が可能です。
⑥ ウィンドウプロパティ	ビデオウィンドウ内の映像の外観を表すパラメータの設定が可能です。 これらのパラメータはプロパティダイアログを利用して設定できます。

### 3. ビデオウォール設定方法

<p><b>ステップ1.</b> 初めてログインした場合、コントロール画面は英語表示になっています。以下の手順を行うことで日本語表示に変更できます。</p> <p>ログイン後、画面上部の言語設定アイコンをクリックし、「Japanese」を選択します。</p>	
<p><b>ステップ2.</b> ビデオウォールの設定を行うには、画面上部の「DXHTML Control DIVIP」のタブをクリックし「設定」を選択してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ビデオウォールの構成の設定を行います。グリッドサイズタブの画面上にてスクリーンの数と配置をクリックします。</li> <li>2. 映像のベゼル補正についてはベゼル補正の入力項目にて、垂直方向と水平方向のベゼル幅を設定可能です。</li> </ol>	 <p style="text-align: center;"><u>ビデオウォール設定画面（グリッドサイズ）</u></p>
<p><b>ステップ3.</b> 個別タブを選択することで、変則的なビデオウォール構成を設定することが可能です。</p>	 <p style="text-align: center;"><u>ビデオウォール設定画面（個別）</u></p>

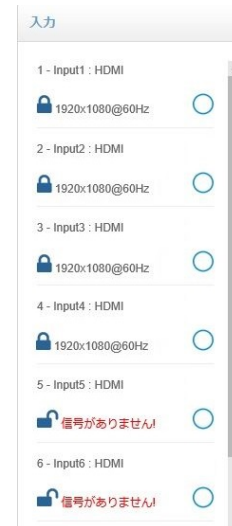
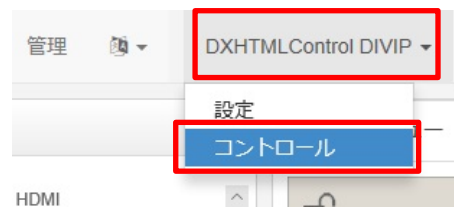
## 4. ビデオウォール操作方法

### ステップ1.

まず、画面上部の「DXHTML Control DIVIP」のタブから「コントロール」を選択してください。これにより、ビデオウォールのコントロールが可能となります。

表示したい入力ソースを、希望するポジションに配置する際は、以下の手順で行います。

1. 入力エリアの中の表示したい入力ソース右の○を選択します。鍵のマークがついているソースは HDCP が付加されています。
2. 映像の表示位置は以下の方法で行うことができます。
  - 入力エリアで入力ソースを選択後、DXWall ビュー上の任意の場所をクリックします。
  - インプットエリアで入力ソースを選択し、そのまま DXWall ビュー上の任意の場所へドラッグしてドロップします（ドラッグアンドドロップモード）。



### ステップ2.

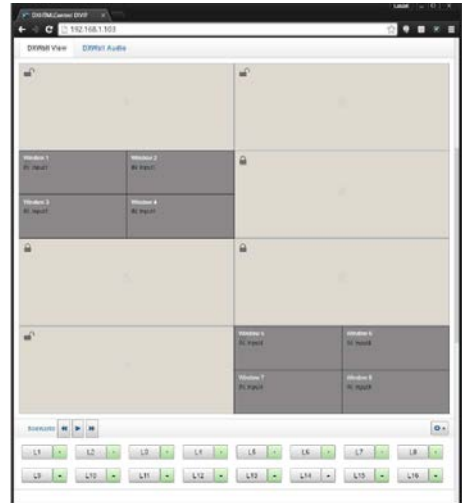
ドラッグアンドドロップモードを利用するにあたって、ドロップモードを使うとビデオを既定のサイズで開くことができます。

1. オプションからウィンドウ作成を選択します。
2. グリッドサイズ、4分の1サイズ、画面サイズ、全画面サイズから選択します。
  - デフォルトサイズモード(Default Size Mode) : ボタンを選択しない場合、ウィンドウはデフォルトサイズで表示されます。
  - グリッドサイズ : 選択されたグリッドによって定められるエリアに合わせて表示されます。



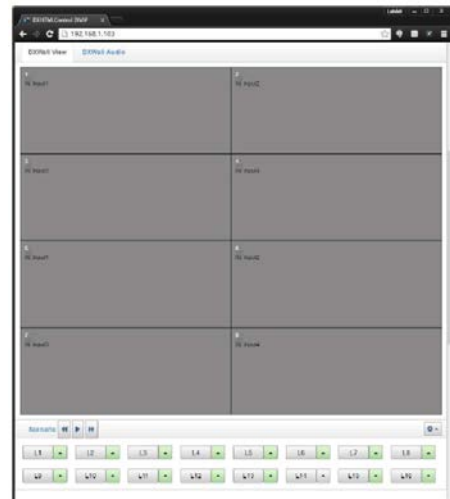
グリッドサイズ設定オプション

- 4分の1サイズ：  
選択されたスクリーンの1/4のサイズで表示されます。



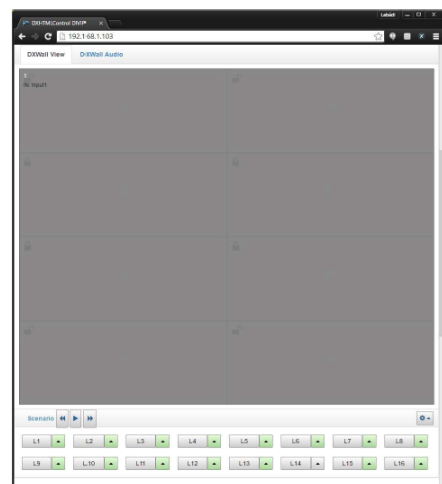
4分の1サイズ

- 画面サイズ：  
ウィンドウはドロップ先のスクリーンサイズいっぱいになります。



画面サイズ

- 全画面サイズ：  
ウィンドウはビデオウォールサイズいっぱいになります。



全画面サイズ

「すべてを閉じる」を押すことで開いているウィンドウをすべて閉じることができます。

**ステップ3.**

DXWall 表示パネル状のビデオパネルにある濃い灰色の長方形をクリックすると、ウィンドウはアクティブになります。またコーナー近くにある青い四角形をドラッグして動かすことで、ウィンドウのサイズを変更することが可能です。



**ステップ4.**

DXWall ビュー上で入力ウィンドウを手動でドラッグして移動すると、各入力ウィンドウは希望の場所に配置することができます。

正確にサイズ変更したい場合には、ウォール上のウィンドウもしくはDXWall ビュー上のウィンドウをクリックすると、DXWall ビューの右上にウィンドウ操作メニューが表示されます。

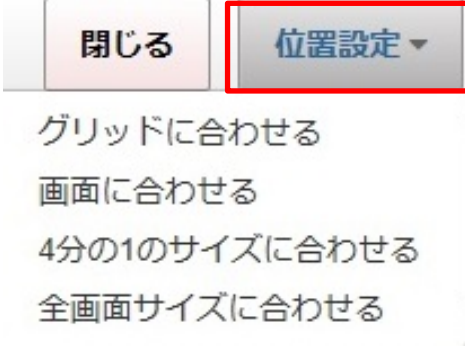
「閉じる」をクリックすると、選択されたウィンドウが削除されます。

「位置設定」のドロップダウンから選択したウィンドウのサイズが変更できます

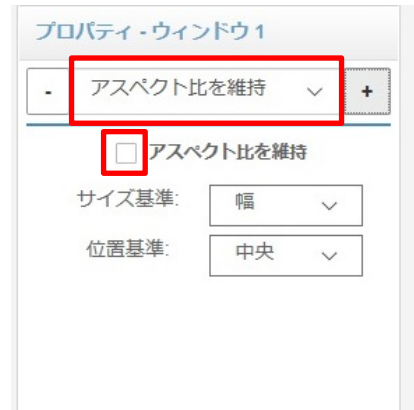
また、ウィンドウが選択されている状態で、ウィンドウプロパティのドロップダウンから「アスペクト比を維持」を選び、「アスペクト比を維持」にチェックを入れると、ウィンドウのアスペクト比が保持されます。



ウィンドウ操作メニュー



位置設定サブメニュー



アスペクト比保持プロパティページ


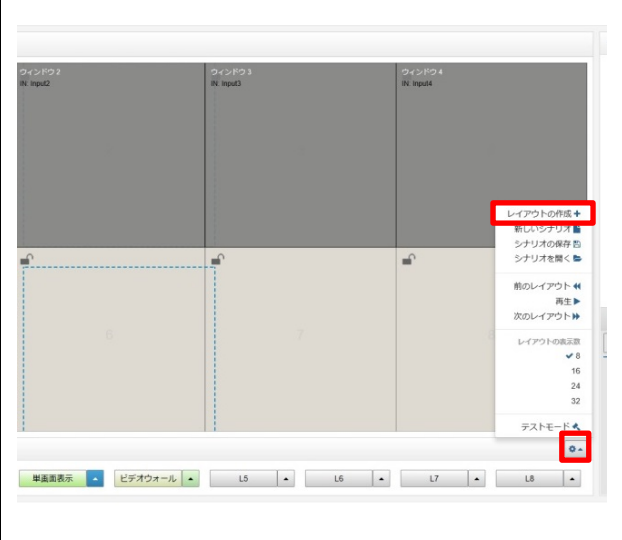





重なりあっているウィンドウの順序を変更する場合は、ウィンドウが選択されている状態で、ウィンドウプロパティのドロップダウンから「配置」を選択します。前面に移動する場合は「上」ボタン、背面に移動する場合は「下」ボタンをクリックします。



配置設定ページ

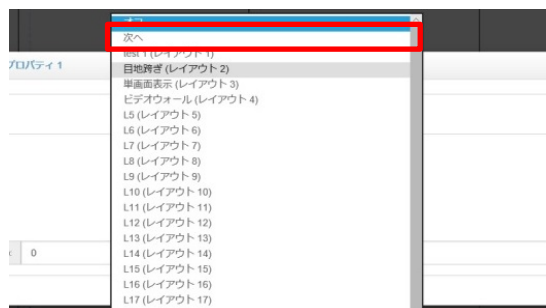
## 5. レイアウト、シナリオ再生登録方法

<p><b>ステップ1.</b></p> <p>Wall ビューの右下にある設定ボタンを押します。</p> <p>「レイアウトの作成」をクリックすると、現在のウィンドウのレイアウト（配置）を保存できます。「レイアウトの作成」を選択した際、レイアウトは何も保存されていないレイアウトボタンに新規に保存されます。</p>	 <p>このスクリーンショットは、Wallビューの右下にある設定メニューを開いた状態を示しています。メニューには「レイアウトの作成」が赤い枠で囲まれています。また、メニューの下部にある「テストモード」のボタンも赤い枠で囲まれています。背景には3つのウィンドウ（インポート）が並んで表示されています。</p>
<p><b>ステップ2.</b></p> <p>保存したレイアウトは画面下部にあるレイアウトボタンから呼び出しが可能です。</p>	 <p>このスクリーンショットは、画面下部のレイアウトボタンを示しています。ボタンには「test 1」と表示されており、その周囲は赤い枠で囲まれています。背景には「シナリオ」のメニューと「目地踏」のボタンが見えます。</p>
<p><b>ステップ3.</b></p> <p>各レイアウトボタンを押すことで、保存されたレイアウトを表示可能です。</p> <p>レイアウトを修正したい場合は、ウィンドウの配置を変更後、レイアウトボタンの右側の▲をクリックし、「保存」を選択することでレイアウトが上書き保存されます。</p>	 <p>このスクリーンショットは、レイアウトボタン「test 1」の右側にある▲ボタンをクリックした瞬間を示しています。▲ボタンは赤い枠で囲まれています。また、その上に表示されたメニューの「保存」オプションも赤い枠で囲まれています。</p>
<p><b>ステップ4.</b></p> <p>保存したレイアウトを指定した間隔で自動的に切り替え表示（シナリオ再生）することが可能です。</p> <p>表示したいレイアウトボタンの右側の▲をクリックし、「プロパティ」を選択します。</p>	 <p>このスクリーンショットは、レイアウトボタン「test 1」の右側にある▲ボタンをクリックした瞬間を示しています。▲ボタンは赤い枠で囲まれています。また、その上に表示されたメニューの「プロパティ」オプションも赤い枠で囲まれています。</p>

「時間(s)」(1)エリアでレイアウトの表示時間を設定します。

「次のレイアウト」(2)のドロップダウンから時間経過後に表示するレイアウトを選択します。

「次へ」を選択すると、次のレイアウトボタンに切り替わります。確定するには「適用」「OK」ボタンをクリックします。




#### ステップ5.

DXWall ビューの下にあるシナリオボタンからシナリオの再生/停止/レイアウト切り替えができます。再生ボタンをクリックすることで、ステップ4で設定した時間でシナリオの自動再生が開始されます。停止ボタンをクリックすることで、再生を手動で停止できます。



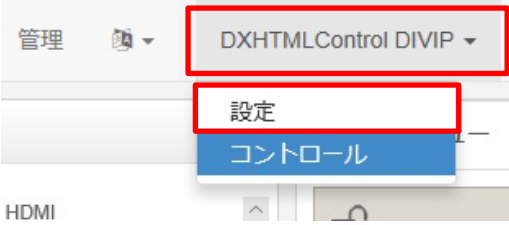



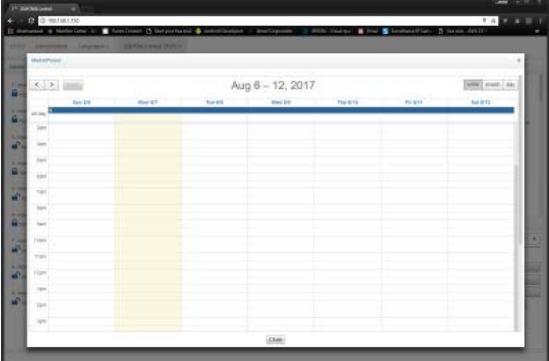

#### ステップ6.

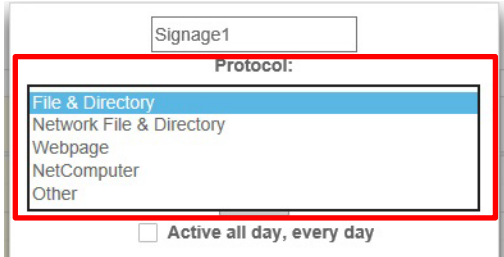


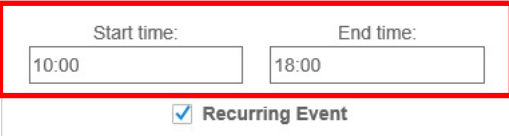
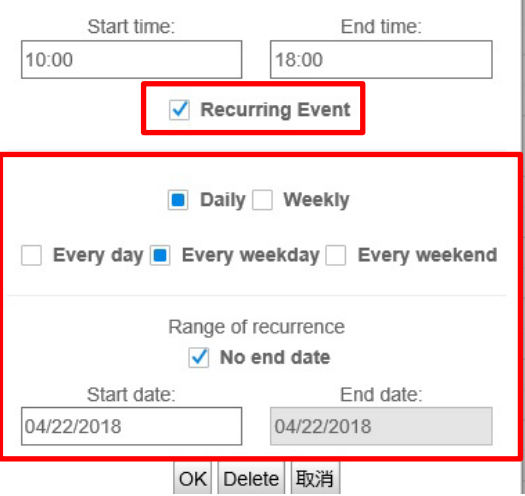

LAN 経由で外部から DXHTMLControl に接続している場合、作成したレイアウト/シナリオを.xml ファイル形式でエクスポートすることが可能です。

Wall ビューの右下にある設定ボタン  をクリックし、「シナリオの保存」を選択します。保存したシナリオファイルは「シナリオを開く」を選択して DXHTMLControl にインポートすることが可能です。



## 6. メディアプレーヤー機能

<p><b>ステップ1.</b> メディアプレーヤー機能を利用することで、デジタルサイネージプレゼンテーションが可能になります。対応可能なコンテンツは以下です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● AVI もしくは H.264 に対応した USB ファイルもしくはディレクトリ上のビデオ</li> <li>● AVI もしくは H.264 に対応したネットワークビデオファイルもしくはディレクトリ上のビデオ</li> <li>● IP ストリーミング (RTSP)</li> <li>● HTML5 Web ページ</li> <li>● VNC クライアント</li> </ul> <p>まず、画面上部の「DXHTML Control DIVIP」のタブをクリックし「設定」を選択してください。</p>	
<p><b>ステップ2.</b> 設定画面左側の入力ウィンドウから、「Input9 : MediaPlayer」の設定ボタン  をクリックします。</p>	
<p><b>ステップ3.</b> 入力9の詳細設定画面が表示されます。「MediaPlayer」ボタンをクリックします。</p>	
<p><b>ステップ4.</b> カレンダーが表示されます。カレンダーからメディアファイルを再生させたい日付をクリックします。</p>	
<p><b>ステップ5.</b> 設定ウィンドウが表示されます。Name のテキストボックスに、このプレゼンテーションに対する適切な名前を入力します。</p>	

<p><b>ステップ6.</b> 「Protocol」ドロップダウンリストから、プレゼンテーションタイプを選んでください。USBメモリ内のメディアファイルを再生する場合は、File&amp;Directoryを選択します。</p>	
<p><b>ステップ7.</b> メディアファイルのファイルパス、またはWebコンテンツのURL、またはストリーミングサーバのIPアドレスを入力します。「Browse」ボタンを押すことでファイルを選択することも可能です。</p>	
<p><b>ステップ8.</b> 常時プレゼンテーションを表示したい場合は、「Active all day, every day」を選択してください。これによりプレゼンテーションウィンドウの他のスケジューリングオプションが無効になります。</p>	
<p><b>ステップ9.</b> プレゼンテーションの時間帯を指定するために、「Start time」と「End time」フィールドを利用してください。</p>	
<p><b>ステップ10.</b> 特定の日付でプレゼンテーションをリピートしたい場合は、「Recurring Event」ボックスを選択してください。「Recurring Event」を選択した場合、「Start date」と「End date」を選択する必要があります。</p>	
<p><b>ステップ11.</b> 全ての設定が終わったら、「OK」をクリックしてください。</p>	

---

---

DIVIP804KC クイックスタートガイド

Ver.1.0.0

発行日：2018年6月1日

---

---



株式会社 アイ・ディ・ケイ

**本 社** 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1  
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

**関西営業所** 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第2ビル5階  
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

**九州営業所** 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル3階  
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

**Eメールアドレス** info@idk.co.jp **ホームページ** <http://www.idk.co.jp/>